

ホルムアルデヒド
放散等級

F☆☆☆☆



ターペン可溶1液反応硬化形
セラミック変性シリコン樹脂塗料

1液ファインシリコンセラUV



1PACK FINE SILICONECERA UV

「塗装の知識」「工事のヒント」「業界の市場動向」など、プロの仕事に役立つ塗装の情報紙。

ペイントかわら版読者募集! 無料

ケータイ 読者登録は、QRコードからカンタン入力でお申込みいただけます。

※QRコードが読み取れない場合は、こちらにアクセスしてください。
<http://paintkwaraban.jp/form/>



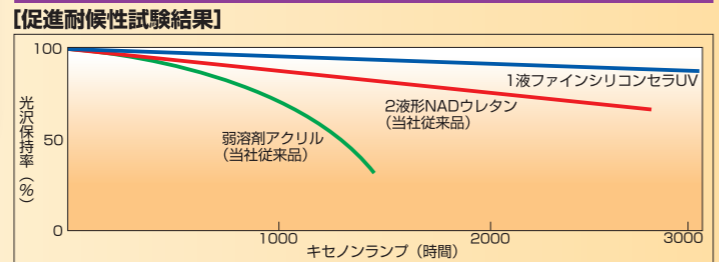
Basic & New
NIPPON PAINT



高耐久性

1液ファインシリコンセラUVはセラミック系樹脂を使用。緻密で強力に結合した分子構造の働きで、外壁の劣化を最小限におさえます。
1液ファインシリコンセラUVなら、高い耐久性を発揮できます。

●1液ファインシリコンセラUVの耐候性



低汚染性

お家の外観を清潔に、美しく保つことができます

1液ファインシリコンセラUVは外壁の汚染に対し、優れた効果を発揮することができます。
さらに、防藻・防かびがあり、イヤな藻やかび菌の発生を抑制することができます。



地域や色相により缶意匠が異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

日々、紫外線や風雨にさらされている家の外壁

環境にやさしい

弱溶剤希釈タイプですので、環境にもやさしい塗料です。

防藻・防かび

藻・かびの発生を抑制することができます。

高光沢の美しい外観

高光沢で、かぶりや肉持ちの良い高級感のある美しい仕上がりにできます。

抜群の作業性

塗装時の発泡もなく、抜群の塗りやすさです。乾燥性にもすぐれるので、冬場の施工に最適です。

1液架橋

2液の信頼性を1液常温反応硬化NAD技術で実現しました。硬化剤を入れる手間がないため、硬化剤の入れ忘れ、計量の煩わしさがありません。
ポットライフ(可使用時間)がありませんので残ネタが使用でき、塗料をムダにしません。

多用途

各種外壁(サイディングボード、モルタルなど)、鉄部硬質塩ビ、FRPなどの新設、塗替えに幅広く適用できます。

高耐久性



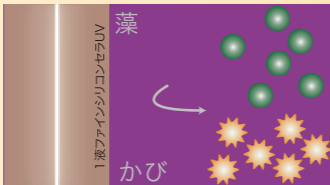
架橋による三次元網目構造とセラミックハイブリッドシリコン技術により、高耐久性を発揮できます。

低汚染性



雨水が汚れの下に入り込み、汚れを浮き上げ、そのまま流れ落とすことができます。

防藻・防かび



藻・かびの発生を抑制することができます。

高光沢の美しい外観



高光沢で、かぶりや肉持ちの良い高級感の美しい仕上がりにできます。

●主な適用下塗り塗料

ニッパパーフェクトフィラー ニッパパーフェクトサーフ ニッパパーフェクトプライマー
ハイボンファインプライマーII ニッパアンダーフィラー弾性エクセル
ニッペ水性シリコンエポサーフ ニッペ水性パーフェクトシーラー

※上記以外にも使用できる塗料がありますので詳細についてはお問い合わせください。

●適用主材

ニッペタイルラックEMA-Sベース100K ニッペタイルラック 1液EPO-Sベース DANタイル中塗

適用下地	●塗り替え改修用(アクリルリシン、吹付けタイル、その他旧塗膜) ●窯業サイディングボード ※金属サイディング材の塗り替えの際は、ご相談ください。フッ素および無機コーティングした窯業サイディングボードへの適用は避けてください。	●鉄部
------	--	-----

●塗料性状・荷姿

塗料名	色相	つや	容量	希釈剤	希釈率(%)	使用量(kg/m ² /回)	塗装方法
1液ファインシリコンセラUV	各色	つや有り	15kg	塗料用シンナーA	3~8(1回目)	0.12~0.16	はけ、ウールローラー
		7分つや有り	3kg		8~13(2回目)		
		5分つや有り			3~8(1回目)		エアレスプレー
		3分つや有り			3~8(2回目)		

・上記の各数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。
・上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。

●標準塗装仕様(塗り替え)

※下記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
※塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります。)
※旧塗膜は、健全な状態であることを想定しています。

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
----	-----	------	---------------------------	---------------	-----	--------	------

●サイディングボード面(サイディング用フィラーを用いた仕様)

下地改修処理	下地改修処理が必要な場合は、下地調査結果に基づいて、塗装工事前に実施する。						
下地調整	ほこり、よこれを除去した後、サンドペーパー、ウエスなどで素地を調整する。						
下塗り	ニッペ 水性シリコンエポサーフ	1	0.20~0.40 0.40~0.80	4時間以上	水道水	0~5 5~10	はけ・ウールローラー エアレスプレー
上塗り①	1液ファインシリコンセラUV	1	0.12~0.16	3時間以上	塗料用シンナーA	3~8 3~8	ウールローラー エアレスプレー
上塗り②	1液ファインシリコンセラUV	1	0.12~0.16	-	塗料用シンナーA	8~13 3~8	ウールローラー エアレスプレー

●コンクリート、モルタル面(微弾性フィラーを用いた仕様)

下地改修処理	下地改修処理が必要な場合は、下地調査結果に基づいて、塗装工事前に実施する。						
下地調整	ほこり、よこれを除去した後、サンドペーパー、ウエスなどで素地を調整する。						
下塗り	ニッパパーフェクトフィラー	1	0.50~0.90	4時間以上	水道水	1~5 2~5	砂骨ローラー タイルガン
上塗り①	1液ファインシリコンセラUV	1	0.12~0.16	3時間以上	塗料用シンナーA	3~8 3~8	ウールローラー エアレスプレー
上塗り②	1液ファインシリコンセラUV	1	0.12~0.16	-	塗料用シンナーA	8~13 3~8	ウールローラー エアレスプレー

※ニッパパーフェクトフィラーをローラー施工する際に、高温時や風が強い場合などの乾燥が進むような条件下では、希釈率を上限値の範囲内で調整することをご推奨致します。(作業性や仕上がりの向上をさらに図ることができます。)

●一般鉄部

下地調整	膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺を含め入念に除去する。さびは電動工具や、サンドペーパー・研磨布などを用いて除去し、清掃する。						
下塗り	1液ハイボンファインデクロ	1	0.13~0.15	4時間以上 7日以内	塗料用シンナーA	5~10	はけ・ウールローラー
上塗り①	1液ファインシリコンセラUV	1	0.12~0.16	3時間以上	塗料用シンナーA	3~8 3~8	はけ・ウールローラー エアレスプレー
上塗り②	1液ファインシリコンセラUV	1	0.12~0.16	-	塗料用シンナーA	8~13 3~8	はけ・ウールローラー エアレスプレー

※一般鉄部には上記のさび止め塗料以外に、ハイボン20デクロ、エスパワーワンエース、ハイボンファインプライマーII、速乾PZヘルゴンエコノパーフェクトプライマーも使用できます。
※さびが発生しやすいエッジ部もしくはさびが発生している箇所を塗装する場合、入念なケレン後、下塗り塗料(さび止め塗料)で部分補修塗りをしてから下塗りしてください。

●硬質塩ビ、FRP部

下地調整	ほこり、よこれを除去した後、サンドペーパーなどで目荒らしを行う。						
上塗り①	1液ファインシリコンセラUV	1	0.12~0.16	3時間以上	塗料用シンナーA	3~8 3~8	はけ・ウールローラー エアレスプレー
上塗り②	1液ファインシリコンセラUV	1	0.12~0.16	-	塗料用シンナーA	8~13 3~8	はけ・ウールローラー エアレスプレー

つや調整品を使用する場合は上塗り①(中塗り)に、「つや有り」をご使用ください。 つや調整品を2回塗りしますと、つやむらが生じることがあります。

●標準塗装仕様(新設)

●ニッペ1液ファインウレタンU100弾性添加剤を添加することでDANタイルの上塗りとして使用できます。

下地調整	ごみ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。							
中塗り	下塗り	ニッペ水性カチオンシーラー 透明	1	0.10~0.16	4時間以上	無希釈	-	はけ、ウールローラー
	ベース吹き	DANタイル中塗	1	1.40~1.80	4時間以上	水道水	5~8	タイルガン
	模様吹き	DANタイル中塗	1	0.80~1.20	16時間以上	水道水	1~3	タイルガン
ヘッド押さえ 必要に応じてヘッド押さえを実施する。(押さえ用ローラーに塗料用シンナーAをつけ模様吹き工程直後から30分後凸部を押さえる。)								
上塗り①	1液ファインシリコンセラUV +弾性添加剤(※)	1	0.12~0.16	3時間以上	塗料用シンナーA	3~8 3~8	はけ・ウールローラー エアレスプレー	
上塗り②	1液ファインシリコンセラUV +弾性添加剤(※)	1	0.12~0.16	-	塗料用シンナーA	8~13 3~8	はけ・ウールローラー エアレスプレー	

※ニッペ1液ファインシリコンセラUV弾性仕様は、ニッペ1液ファインウレタンU100弾性添加剤を必ず添加、混合して塗装してください。(塗料:添加剤=20:1)

※カタログに記載されている内容は一般的な環境下での施工を想定して記載されております。特別な環境が想定される施工現場・部位に塗装される場合は、事前に必ず当社営業までご相談いただけますようお願いいたします。

ニッペ 1液ファインシリコンセラUV

● 施工上の要点および注意事項 (詳細な内容については、各商品の製品使用説明書などにてご確認ください)

- ①弾性タイプ (JIS A 6909 防水形複層塗材 E/RE) の上塗りを使用する場合は、必ず弾性添加剤を規定量添加した上でご使用ください。なお、高弾性タイプ (JIS A 6021 建築用塗膜防水材) への使用はお控えください。
- ②つや調整品を使用する場合は上塗り1 (中塗り) に「つや有り」をご使用ください。つや調整品を2回塗りしますと、つやむらが生じることがあります。
- ③鉄部には直接塗装できません。あらかじめ、さび止め塗料を塗っておく必要があります。
- ④つや調整品は、はけ、ローラーでの塗装はムラが出やすくなりますので、スプレー塗装をおすすめいたします。
- ⑤つや調整品は、塗り継ぎや補修でつやムラが出やすいので、面を切って通して塗装してください。
- ⑥過剰希釈をすると本来のつやが発現しないおそれがありますので、規定の希釈量をまもってください。
- ⑦つや調整品は被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間などにより、実際のつやと若干違って見える場合がありますので、塗り板見本を参考に試し塗りをしてください。
- ⑧つや調整品は、塗料液が分離しやすいので、よくかはんしながらご使用ください。
- ⑨防藻・防かび効果は、繁殖を抑制するものです。既に繁殖している場合は、下地処理として除去および殺菌処理をしてから塗装してください。
- ⑩被塗物の構造、部位、塗装仕上げ形状、環境条件などの影響で、本来の低汚染機能が発現されない場合があります。
- ⑪溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気をしてください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願い致します。
- ⑫所定のシンナー以外を使用したり、薄めすぎるとつや引けやダレ、かぶり不良などをきたす原因になりますので、必ず所定のシンナーおよび希釈率をまもってください。
- ⑬異なる色相を塗り重ねる場合 (例：1回目の上塗りを塗装してから、別な色相でラインや帯などを塗装する場合など) 2回目の上塗りが1回目の上塗りを侵してラインや帯などが変色 (ブリード) により、する場合がありますのでご注意ください。
- ⑭カウンター、陳列棚、ベンチ、床面などが常時置かれるような場所には塗装しないでください。油脂分 (人の手油などを含む) やアルコールなどがつくと、塗膜が軟化して色移りする場合があります。
- ⑮硬化が不十分な場合は、シンナーで再溶解する場合があります。
- ⑯旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
- ⑰内部塗替えにおいて旧塗膜がOP、FEなどの油性系の場合、研磨ずりを行ってください。下地処理が不十分な場合は、塗膜は剥離の原因となります。
- ⑱既存塗膜のく離箇所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
- ⑲改修工事にご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、旧塗膜を侵し溶剤膨れや縮みなどの異常が発生する場合がありますので、旧塗膜の種類をご確認の上、塗装仕様をご検討ください。
- ⑳風化面・吸込みの著しい下地では、ニッペ浸透性シーラー (新)、ニッペ液浸透シーラー、ファイン浸透シーラーをご使用ください。
- ㉑シーリングの上に、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
- ㉒蓄熱されやすい建材 (軽量モルタル、ALC、窯業サイディング、発泡ウレタン使用建材など) を使用した「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弾性リシン、弾性スタッコ、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階で既に旧塗膜が膨れていることがあります。そのまま塗装すると膨れがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なると、建材の変形・塗膜の膨れ、はく離が生じることがありますので、最寄の営業所などにご相談ください。
- ㉓やが著しく付着している場合は、ウエスなどでやにを水拭きして除去し被塗膜を十分に乾燥させてから塗装してください。希釈を少なくし、1回目の塗装を十分乾燥 (目安23℃、6時間) させてから2回目の塗装をすることでやに止め性が向上します。シミ、あく面は止まりにくい場合がありますので、ウエスなどで水拭きを行い、被塗膜を十分乾燥させてから塗装してください。
- ㉔素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下 (ケツ科学社製CH-2型で測定した場合) または5%以下 (ケツ科学社製H500シリーズで測定した場合) の除去で塗装してください。
- ㉕表面のこみ、ほこり、エフロレッセンス、レイタンスなどは除去し、目違い、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。
- ㉖ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において巣穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材 (ニッペ1材カチオンフィラー、ニッペフィラー200) などで処理してください。(合成樹脂エマルジョンパテの使用は避けてください。)

- ㉗内外壁の新設仕様の場合は、必ず下塗りにシーラーを塗装してください。
- ㉘素材にセメント成分などが使われている場合は、エフロレッセンスが発生するおそれがありますので溶剤系シーラーをご使用ください。
- ㉙新設の押出成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材としてニッペ浸透性シーラー (新)、ニッペ液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをお使いください。
- ㉚塗装場所の気温が5℃以下、湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- ㉛屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- ㉜塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分にを行い、火気厳禁にしてください。
- ㉝飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- ㉞シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離などの不具合を起こすことがありますので、原則としてニッペパーフェクトNBシーラーを除き行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。
- ㉟スチールドア枠回りなどシーリング材との接触が起る部分への塗装は避けてください。可塑剤の移行などにより塗膜が軟化、剥離し、シーリング材の機能を損なう可能性があります。
- ㊱笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- ㊲塗料は内容物が均一になるように攪拌してください。薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上がりが不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- ㊳上塗りに汚れたイソロー、レッド、ブルー、グリーン系色相を使用する場合は、共色を下塗りしてから塗装してください。
- ㊴調色には必ず当社専用の原色をお使いください。
- ㊵濃彩色や汚れた原色の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類など接触する可能性のある部位には使用しないでください。なお、状況により常時接触するような箇所を使用する場合は、ファインシリコンフレッシュリヤーを上塗りに塗装してください。
- ㊶大型壁面塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法等の条件を同一にしてください。
- ㊷はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面肌が異なるため若干の色相差がでますので、はけローラーの部分は希釈を少なくして塗装してください。
- ㊸ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相が異なって見えることがあります。
- ㊹塗装方法により色相が多少変化する場合がありますので、ローラー塗りは出来る限り入り隅まで入れてください。
- ㊺汚れ、傷などにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法等の塗装条件を同一にしてください。
- ㊻クロスの上の塗装は避けてください。
- ㊼ローラー、ハケなどは、他の塗料での塗装に使用するとハジキなどが発生する恐れがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
- ㊽可塑剤が多く含まれる塩ビ鋼板、塩ビミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革、塩ビクロスなどの直接塗装はお避けください。
- ㊾また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようにご注意ください。
- ㊿平滑仕上げや鏡面仕上げの場合は、素材や素地の状態によって、吸込みや巣穴によるピンホール、凹凸などを防止するため、パテ工程や研磨工程が必要になる場合があります。
- ①使用前に内容物が均等になるようにかはんし、開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- ②塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。

● 安全衛生上の注意事項 (ニッペ1液ファインシリコンセラUVホワイト)

横倒禁止

1. 本来の用途以外に使用しないでください。
 2. 使用前に取扱説明書を理解して、取り扱ってください。
 3. 熱/火花/炎/高温のもののような着火源から遠ざけてください。一禁煙です。
 4. 容器を密閉してください。
 5. 容器および受器を接地してください。
 6. 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用してください。
 7. 火花を発生しない工具を使用してください。
 8. 粉じん/ガス/蒸気/スプレー等を吸入しないでください。
 9. 屋外または換気の良い場所でのみ使用してください。
 10. 必要な時以外は、環境への放出を避けてください。
 11. 取扱い後は、手洗いおよびうがいを行ってください。
 12. 適切な保護手袋/保護眼鏡/保護面/保護衣を着用してください。
 13. 必要に応じて個人用保護具を使用してください。
 14. 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。
 15. 飲み込んだ場合：気分が悪い時は、医師に連絡してください。口をすすいでください。
 16. 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。
 17. 眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けてください。
 18. 皮膚や髪に付いた場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ取り除いてください。皮膚を流水かシャワーで洗ってください。
 19. 皮膚に付いた場合、多量の水と石鹸で洗ってください。
 20. 取り扱った後、手を洗ってください。
 21. 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けてください。
 22. 直ちに、すべての汚染された衣類を脱いでください/取り除いてください。再使用する場合には洗濯してください。
 23. 粉じん、蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった時には、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診察を受けてください。
 24. 暴露した時、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡してください。
 25. 緊急の洗浄剤が必要な場合、直ちに特別処置を実施する。
 26. 火災時には、炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。
 27. 水を消火に使用しない。
 28. 容器からこぼれた時には、布で拭き取って水を張った容器に保管してください。
 29. 施設で子供の手の届かないところに保管してください。
 30. 直射日光や水濡れは厳禁です。
 31. 積み重ねは3段までとってください。
 32. 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上の温度に暴露しないでください。
 33. 内容物/容器を廃棄する時には、国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
 34. 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。
 35. 容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。
- *上記の表示は、一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。
- 詳細な内容、表示例以外の製品については、安全データシート (SDS) をご参照ください。
- 本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

危険



危険有害性情報

引火性液体および蒸気/皮膚刺激/強い眼刺激/呼吸器への刺激のおそれ 又は眠気、めまいのおそれ/生殖能又は胎児への悪影響のおそれ/長期にわたる、又は反復く露による臓器の障害のおそれ/水生生物に非常に強い毒性/長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

- 本カタログの内容については予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- ©Copyright 2018 NIPPON PAINT Co., Ltd All rights reserved.
- 日本ペイントホームページ <http://www.nipponpaint.co.jp/>

日本ペイント株式会社

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 北海道支店 ☎011-370-3101 | 近畿支店 ☎06-6455-9608 |
| 東北支店 ☎022-232-6712 | 中国支店 ☎082-281-2180 |
| 関東支店 ☎03-5479-3614 | 四国支店 ☎0877-56-2346 |
| 北関東信越支店 ☎03-5479-3614 | 九州支店 ☎092-751-9861 |
| 中部支店 ☎052-461-1960 | |

カタログNo.

NP-W115

TY181005T

2018年10月現在